



党員・党友そして社民党を支えて下さる皆さん、残暑お見舞い申し上げます。

連日、猛暑日となる酷暑が続く、そしてコロナ感染者が二〇〇〇人を超える日が続くという大変な状況となつていますが、お互い健康管理に最大限の注意をし、この夏を乗りきって行きましょう！

安倍元首相銃殺事件から旧統一教会と政界との関わり、そして国民の半数以上が国葬反対と評価するなか、国葬が行なわれようとしています。

世界を震撼させたロシアの核兵器使用という脅しに対して、平和外交・安全保障問題と重要な問題が目の前に迫っているのに、臨時国会は、実質審議もせず僅か三日で閉会した自公政権の横暴に怒りを感じます。

国葬についての議論は、閉会中審査を実施した中で行なわれるようですが、旧統一教会問題についても野党の連携で、真相の究明を望むところです。

さて七月に投開票された参議院選挙を振り返ると、闘いの前の大分合同新聞記事では「社民党が崖っぷちに立たされてきている。得票率二%をクリアしなければ公選法上の政、

党要件を失い、前身の社会党から七十七年の歴史を持つ老舗政党も政治団体に転落する。大分県連合は、大分市出身の村山富市元首相を送り出し、長く「牙城」を築いてきた。立憲民主党への合流で党勢は大きく後退したものの、旗印の護憲・平和を掲げて望む」(六月十九日付)

そしてアンケート調査でも良くて〇、八%、悪いところは〇、三%と言う結果でした。しかし七月十二日の朝刊

一面では、「社民党、政党要件を維持」の見出しで、「七十七年の歴史がある党の存続へ「背水の陣」で臨んだ大分県連合役員は「社民党を愛する党員と支持者のおかげ」と感謝した。ただ党員の高齢化は進んでおり党勢回復は見通せない」と報じている。



厳しい状況の中で、県内得票率五、八三%、全国二、三七%を獲得し、多くの仲間と社民党を守り抜きました。これからの具体的な闘いは全国連合で提起されますが、県連合も新たなスタートとして、みなさんと共に頑張っていきたいと思えます。

久原 和弘 県連合代表

「被爆七十七年原水禁世界大会」

核も戦争もない

平和な二十一世紀に！

ロシアのウクライナ侵略、ペロシ米下院議長の訪台に反発した中国の大規模な「重要軍事演習」が行なわれる緊迫した状況のなかで、「被爆七十七年原水禁世界大会」が八月四日～六日、三年ぶりに全国から約千二百名の参加のもと現地広島で開催されました。



県内から九名の参加その一員として社民党から参加してきました。

核兵器禁止条約が昨年一月二十二日に発効、今年六月二十一日から第一回締約国会議が開催され核兵器廃絶の実現へと世界が動き出したと言われている。

しかし、日本は「条約に賛成することは、米国による核抑止の正当性を損なう」とし、オプザーバー参加すらしませんでした。



大会は七つのテーマが準備され、私は「平和と核廃絶―改憲と敵基地攻撃能力」分散会へ参加しましたが急遽、講師が名古屋学院大学の飯島教授に変わりました。

五月三日の憲法記念日に大分で講演された内容と大きくは変わらず、新報大分県連合六月号で記載していただきます。ここでは省力します。

たまには被爆者のことも思いだして！

開会総会で、

被爆者の訴え 広島県被団協の切明千枝子さん(九十二歳)は、十五歳の女学生るとき、学徒動員で被爆された。

原爆投下の状況を切々と話され、話の締めくくり「たまには被爆者のことも思いだして！」の言葉が印象的でした。



県連合幹事長 馬場徳明



百一歳記念誌 自費出版
北山為友さん



昨年九月号でも紹介させて頂いた臼杵市に住む北山為友さん(専売公社OB)が、七月十五日百一歳の誕生日を記念して句集を自費出版しましたので、友人の加藤永治さんと臼杵支部の廣瀬文明さんと、ご自宅へお伺いしました。為友さんと近くに住む長女の長野恵子さんご夫婦(主人はサントリーOBの忠正さん)が出迎えてくれました。

八十歳で奥様を亡くされて以来、一人暮らしの北山さんは、
◎目薬をさす以外、薬とは無縁
◎正月・盆以外、ゲートボールの練習は休まない
◎一日五千歩以上歩く
◎入浴中四十分のストレッチ

◎近くのスナックに月二回通う
◎年賀状は二百五十人とやりとりしていると言う。
お話を聞けば聞くほどスーパー高齢者ぶりに驚くばかり!

川柳集では
反戦・平和の
川柳が並ぶ。
一部、紹介↓



秘密保護法世論もなんの数で決める
自衛権 民の声など受け流し
夢に出る 焼夷爆弾 皆地獄
総理殿 平和憲法 なぜ変える
海へだて 伊方原 発気にかかる
九条の 平和憲法 鍵をせよ

今や百才の時代、私たちも北山さんに負けぬよう反戦・平和の活動を！
教宣部片山和雄

堺ブレイヤーズ
大分市で合宿を行なう



佐藤大分市長 千葉進也監督 高野直哉選手 高野市議

直哉(長男)が所属する堺ブレイヤーズ(バレーボール)が、七月二十五日〜三〇日の日程で大分合宿をしました。
七月二十八日に千葉進也監督と息子が大分市長にあいさつに行くと言うので同席させていただきました。
高野博幸

党員・党友 登場!

参議院議員選挙の開票立会人になりました。

7月10日、20時30分集合し21時15分に開票が始まりました。

送られてきた投票箱や取り付けられた鍵に異常が無いか点検し、投票用紙を取り出した投票箱が空であるか確認を行ないました。

集計は分類機で50音順に16分割分類し、分類機で集計出来ない票を手作業で分類しました。その後、票の計数機を使用し、候補者ごとに100票の束を作成し500票の束にして決定票を添付しました。分類機・計数機のおかげで、作業は円滑に進みました。

7月11日0時を過ぎたところで選挙区の開票が終わりました。後、比例区を集計が進む中、外を見ると明るくなっていました。この後、有効票か無効票かの効力判定の時間があり、1票に定められた思いに対し、いろんな意見を述べてゆく…もうすぐ7時…やっと比例区も終わった。

※福島瑞穂がんばれ・社民党を無くすな等々、いろんなコメントが書かれていましたが、残念ですが、すべて無効となりました。自宅に帰りニュースで社民党1議席確保を知り、感謝!感謝!

山崎 俊次



東植田支部 山崎俊次さん

みんなで 国葬を告訴しよう!

♪ヨシミが吠える〜!

国葬が閣議決定されました。社民党は国葬反対の表明しています。理由は国葬そのものが憲法違反だから。その上で、国の行事を国会で決めるのではなく閣議決定という荒技で決めた事。

そして、安倍晋三が果たして国葬をするに相応しい人間であるか?です。モリカケサクラ問題、何一つ解明されず、このまま闇に葬っていいのか?これからの国会で、どのように野党が追及していくのか注目です。

国葬だけではなく、旧統一教会と政治家の関わり、そのことで旧統一教会の教義に沿わない法律(選択的夫婦別姓・同性婚・LGBTQ解消など)の成立をことごとく邪魔している与党!かなり深く結びついている実態の追求が求められます。

あ〜社民党が国政政党に残って良かった!そう思えるように2人の国会議員に頑張ってもらいたい!そして、私たちが傍観しているのではなく、世論に訴えていかねばなりません。

9月27日が終点ではありません!岸田政権が私たちに闘いのステージを用意してくれたのですから受けて闘っていかなくてはなりません!

